水稲の新しい品種「きぬむすめ」の紹介

食の安全研究部作物グループ

■調査研究の概要

大阪府における新しい水稲の奨励品種注1)jを決定するため、毎年、国及び指定育種試験地から提供された新品種及び系統注2)の栽培試験を行い、栽培適性・生産力・品質を調査している。最近では、2007年に早生で食味に優れた「きぬむすめ」を奨励品種に選定した。

- 注1) 奨励品種は、各府県で栽培を普及する品種のこと
- 注2)系統は品種登録を受ける前の品種のこと

■調査研究の特徴

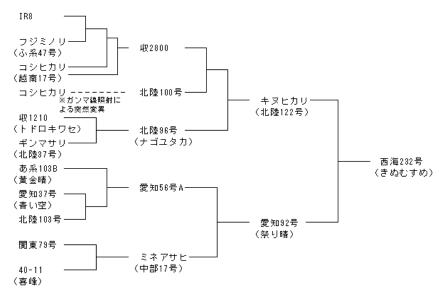
- ・毎年、20~50の新品種・系統を試験栽培し、特徴を把握
- ・所内試験ほ場に加え、地理的条件の異なる府内4ヶ所の現地 試験ほ場で栽培調査を実施
- ・また、気象変動等に対する特性把握のために最低でも3年間は 調査試験を実施

■調査研究の内容

- ◎奨励品種を決める手順
 - ①所内試験ほ場での予備試験(20~50品種)の実施
 - ②予備試験で有望と認められた品種 (3~5品種)を所内 試験ほ場で栽培特性試験を実施
 - ③府内4か所の現地試験ほ場で栽培調査を行い、現地適 応性を調査

【調査項目】出穂期、成熟期、稈長、穂長、玄米収量、 玄米品質、耐病性、食味値など

- ・選定で重視する項目 病気に強く、減農薬栽培に向いた、良食味品種
- ◎きぬむすめの選定経過
 - •2005年 試験開始
 - ・2007年 奨励品種登録
 - •2009年 府内栽培開始
- ◎きぬむすめの特徴第1表のとおり育成経過は第1図のとおり



第1図 きぬむすめの育成経過



▲写真「きぬむすめ」の草姿

第1表 きぬむすめの特徴

項目	特徵
育成地と育 成経過	(独)九州沖縄農業研究センター育成で、「キヌヒカリ」を母に「祭り晴」を父に生まれた(第1図)
食味特性	粘りが強く、コシヒカリと同等かそれ以上 の食味特性がある。炊飯米は雪のように 白い。
栽培適正	収量性や品質がよく、府内での栽培適地が 広く、高温登熟障害にも比較的に強い。
草姿	草丈は、祭り晴より長く、ヒノヒカリ並であるが、耐倒伏性はヒノヒカリより強い(写真)。

水稲の新しい品種「きぬむすめ」の紹介

池田祐之介・森本和樹・小坂吉則*・佐能正剛*・上田知弘* (食の安全研究部 *現 大阪府)

1. 目 的

大阪府では、主要農作物種子法により府内で普及奨励するための水稲奨励品種を決めており、当研究所で、水稲新奨励品種有望系統調査を行っている。

早生品種に関しては、「祭り晴」が食味志向の変化により人気が低下し、水稲栽培農家からそれに代わる品種の要望が高まっていたので、大阪府の気候にあった良食味の早生品種の選定を 2005 年に実施した。

2. 方 法

(1) 材料

国系統、九州沖縄農研の「きぬむすめ」等の13系統品種を試験栽培した。標準品種として、「供試系統品種として、福井農試の越南系統や、北陸農研の北陸系統、近中四農研の中祭り晴」、比較品種として、「日本晴」、「ヒノヒカリ」を選定して比較試験した。

(2) 方法

栽培試験は、10a 区画の水田に1品種当たり16 ㎡の試験区を設け、2 反復とした。栽培管理は慣行に準じ、5 月 20 日に、は種量130g/箱(乾籾換算)の手蒔きは種を行った。移植日は6月10日で、2 条歩行型田植機による稚苗機械移植で、栽植密度は18.5 株/㎡とした。肥培管理は、化成肥料を基肥として肥料成分で窒素:リン酸:加里=6:6:6kg/10a、穂肥として窒素:リン酸:加里=2:2:2kg/10aとなるよう施用した。10 月上旬より成熟期を迎えたものから、順次、生育調査を行い、坪刈り収穫を行った。その後、ハウス内で10日間天日乾燥し、脱穀調整後、収量等諸特性の調査を行った。

3. 結果および考察

- (1) きぬむすめは、出穂期が 8月21日と祭り晴に比べ、4日遅い。成熟期は10月13日と8日遅い。稈長は84cmと長いが、倒伏はしなかった。
- (2) 玄米の等級品質に関係した玄米品質は、祭り晴には劣るが、比較的よい品質であった。
- (3) 炊飯食味計を用いた食味計測値では、きぬむすめの値は高かった。また、外観と粘りの数値は、ヒノヒカリ以上の優れた数値を示した(第1表)。
- (4) この 2005 年の結果を踏まえ、その後、現地試験及び、経年試験を実施し、良好な結果が得られたため、2007 年に「きぬむすめ」は、大阪府の奨励品種として登録された。
- (5) 2009 年に府内 596ha で栽培が始まり、2010 年の夏の異常高温時にも登熟障害による玄米品質の低下も比較的少なかったことから、栽培面積は増加傾向にある。

10 1 2 1 1 1 0 0 10 E 10 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1												
供試系統品種名	出穂期	成熟期	稈 長	穂 数	精玄米重	千粒重	玄米品質	炊飯米				
	月日	月 日	c m	∕ m²	kg∕a	g		食味値	外観	粘り		
きぬむすめ	8.21	10.13	84.0	300	53.0	21.6	5.5	86	8.8	9.0		
祭り晴	8.17	10.05	68.4	298	52.8	21.8	4.5	83	8.5	8.6		
日本晴	8.18	10.08	79.1	328	55.5	23.1	6.5	71	6.7	6.8		
ヒノヒカリ	8.26	10.20	81.7	317	59.1	22.7	5.0	85	8.6	8.8		

第1表 生育および収量調査結果の概要(2005年調査 抜粋)

精玄米重: 1.8mm ふるい目で調整 玄米品質: 1(上の上)~9(下の下)

炊飯米の測定値は、炊飯食味計サタケ RTAIA 計測による。